

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	33	実際に看取りの介護は今までにないが、レベルの低下で施設を移ることがある。(レベル低下→転倒や肺炎等)入院期間が長くなる。	基本理念でもある、その人らしさを大切にしながら、元気で楽しく生活をしていただく。	重度化しないように運動の機会を増やしたり、積極的に運動や体操を取り入れていく。個々のレベルに合った園内歩行や、定期的に体操(体を動かす他、口腔体操)を取り入れていく。排便の促しにもつながるため、便秘予防の観察も併せて行っていく。	2か月
2	21	利用者同士の言い合いや、特定の方を悪く言われたりしている時がある。皆仲良く暮らすことが理想だが、なかなか難しいところがある。	席をある程度決めているが、自由に話したい人と話をするができる。ただ、特定の方をターゲットにした会話や悪く言っている場面を減らしていく。	普段から、利用者同士の会話や行動に気を付けて見守りをしている。引き続き行っていき、どちらも悪い立場に陥らないよう、利用者の気持ちに配慮した声掛けと仲裁、話題切り替え等のスキルを身につけていく。	6か月
3	19	ご家族様には病院受診をした時の連絡ばかりとなっている。	コロナの状況がまだまだ続きそうなため、面会や外出も自由にできない現状だが、その中で、ホームからご家族様へ向けた発信を大切にしていく。	利用者が元気に暮らしている現状を、月1回の手紙だけでなく、電話をかけたり、さりげない事(日常の事での変化等)の報告をもう少し取り入れていく。	2か月
4	13	スタッフのスキルや考え方に差がある。	利用者を一番に考えられるようになる。	事例検討や日頃の支援の中での対応統一のため、勉強会を増やす。実際に合った場面を取り入れることで、意識付けしやすいようにする。	2か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。